

## 研究テーマ

「やってみたい!」「できそう!」こどもたちが生き生きと学び合う授業づくり  
～「ともに学ぶ」ための支援の充実～

## 研究の概要

### 振り返りに注目!

すべてのこどもが  
「ともに学ぶ」ための  
支援とは?

振り返り

特別支援教育の視点

これまでの学びとの  
つながり

こどもたち同士の  
学びのつながり

友だちからの承認

自分の学びと  
学び方の自覚

すべてのこどもが「ともに学ぶ」  
ための支援の実現のために、「振り返り」  
に注目しました。

「振り返り」によって、こども自  
身の考えを深めたり、こどもたち同  
士をつなげたり認め合ったりするな  
ど、すべてのこどもが授業に参加で  
きる授業を目指しました。

## 研究の実際

小学校6年 社会  
みんなの「わからない」から学びを深める

～意思表示カード・板書写真の活用～

### 児童の実態

- 6年生(29人)
- 歴史の学習は初めてだが、「頑張りたい」「楽しみ」という前向きな姿勢(8割以上)。
  - 調べ学習や少人数での伝え合いは好きだが、自分の考えをまとめることや発表することに対して苦手意識をもつ(約7割)。

### 変容

- 「『わからない』を言ってもいいんだ」  
→発表・表現することへの抵抗を減らす
- 「自分と同じだ」「違ってもいいんだ」  
→安心感
- 「わかった」という実感  
→自信

小学校6年 道徳  
気づきを生む「視覚化」で対話を育てる

～問い・可視化・対話の工夫～

### 児童の実態

- 6年生(29人)
- 一人一人が素直な考えをもっているが、伝える場面で遠慮する傾向がある。
  - 学習面でも生活面でも、自分の「考え」を大事にして主体的に行動する面に課題が見られる。

### 変容

- 友だちと自分から進んで対話ができるようになった。
- 最初はわからなくても、友だちとの対話をおして自分の考えを深めることができるようになった。
- 友だちの発表を興味深く聴いたり、優しく反応したりすることができるようになった。

中学校2年 理科  
「振り返り」で始まる探究的な学び

～演示の工夫とメタモジクラスルールの活用～

### 生徒の実態

- 2年生(37人)
- 探究的な課題が困難。
  - 今までの学習を思い出すことが難しい。
  - 論理立てて説明することが難しい。
  - 集中力の継続が難しい。
  - 実験中の一瞬の出来事に注目することが難しい。

### 変容

- 必要な情報を自分で選択して得ることができるようになった。
- 個人考察をすべての生徒が記入することができた。

通級による指導 自立活動  
個での学びがみんなの中で輝く☆

～通級による指導(自立活動)における振り返りの充実や学級担任・保護者と連携した取組によるコミュニケーション力の育成～

### 児童の実態

- 小学校2年生(女児)
- 言葉の少なさも、自分の思いや考えを適切な言葉で表現することは苦手であるが、人に何かを伝えようとする意識は出てきている。

### 変容

- コミュニケーションをとることのよさや楽しさを少しずつ実感し、話すことが好きになってきている。
- 逐次読むから、単語をまとまりとして捉えて読むことが増えてきている。
- 学級で積極的に発表するとともに、授業の流れに応じた発表内容が増えている。
- 自分から色々な人とかかわるようになり、交友関係が広がっている。

## 研究の成果

特別支援教育部会テーマ

「やってみたい!」「できそう!」  
こどもたちが生き生きと学び合う授業づくり  
～「ともに学ぶ」ための支援の充実～

### 振り返り

#### 成果

「振り返り」の場面を こどもの実態に合わせて  
タイミングよく取り入れる

・こどもの考えを広げ  
深める問い



・友だち同士がつながったり  
認め合ったりする姿



#### 今後に向けて

・取組や考え方の周知  
KEW 等



こども一人ひとりの  
可能性を支えるために  
ともに学びましょう

